

黒田天外 くろだ たいがい 評論家、小説家。慶應二年一月十六日近江國彦根生れ（八六一）。舊姓外村、本名讓。別號日慈、無聖樓主人、天外居士。一松學舎を経く斯又巽心學び、易を根本通明し、經史を諸儒に受く。歸郷して『近江新報』記者、次ぐ京都の日出新聞社に入社。當時の著書『名家歴訪録』（上編・明治二十一年八月・二十五日京都・自刊、中編・二十四年十月・二十五日京都・自刊、山田吉忠堂發賣）は、上方久元の傳獻によう大覽に供せられた。また京都市の依歸によう『京都名勝記』（二卷）著はす。小説の他、漢詩、書畫共、心能くした。他、『江湖快心録』（明治二十四年八月五日山田吉忠堂）、『傑士江戸紫』（明治二十四年九月五日大阪・駿々堂）、『續江湖快心録』（明治四十年十一月）二十五日京都・自刊、京都文真教育會同報社・山田吉忠堂發賣）等。